

普及活動情勢報告（平成30年11月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

販路拡大に向けて

・・・四万十市農家レストランしゃえんじり・・・



10月21日、香美市にある土佐山田ショッピングセンターバリューノア店で、商品の販路拡大に取り組んでいる四万十市農家レストランしゃえんじりのメンバーが店頭販売及びインショップ販売を実施しました。農業改良普及課は、当日までの準備物や役割分担、ポップなどについて助言を行いました。

メンバーからは、「加工品をメインにしゃえんじりらしさが伝わる商品の提供の仕方」、「販売をきっかけにしゃえんじりまで来てもらえるようなPRの場にするのが大事」などの声がありました。

今後も販売拡大や商品の改良、組織活動に向けて支援を行います。

古い産地の先輩と新しい産地の新規就農者、どちらも勉強になります！

・・・JA高知はた西土佐支所柚子部会の三原村のユズ視察・・・



10月26日、三原村の新規就農者のユズ園2カ所にJA高知はた西土佐支所ユズ部会の生産者5名とJA高知はた職員が訪れ、交流しました。三原村農業公社が育成した作業効率のよい樹形や園内雑草の管理方法に感嘆しながら、農薬散布などについて助言をしていました。また、やや傾斜のある園では、収穫しやすい樹形づくりについて提案をしていました。視察者は新しいやり方を勉強し、新規就農者は経験者ならではの助言をもらい、どちらも有意義な1日でした。

農業改良普及課は、今後も管内農業者の交流を推進していきます。

ミディトマト目慣らし会

・・・JA高知はた中村支所よさこいミディ研究会・・・

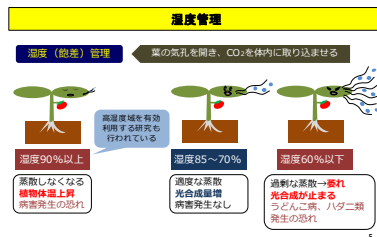


10月13日、四万十市のJA高知はた中村出荷場でミディトマト目慣らし会が開催され、生産者8名が参加しました。

JA高知はた販売課より出荷規格について説明があり、A品とO品の基準について生産者との意見交換が行われました。農業改良普及課からは、環境制御技術普及促進事業の紹介と環境測定装置の活用について説明を行いました。生産者からは、「トマトでは環境制御技術を導入することでどのくらい収益が上がる？」などの質問が挙がりました。

農業改良普及課は、環境制御技術の普及促進を図り、生産量の向上に繋げていきます。

ナス黒枯病には湿度管理と薬剤ローテーションを！・・・JA高知はた大月支所施設園芸部・・・



11月8日、大月町の農村環境改善センターで、生産者10名が参加し、ナスの黒枯病対策についての勉強会を開催しました。

湿度管理については、湿度条件ごとに異なる植物反応や換気事例を紹介しました。薬剤ローテーションについては、ラックコードに基づく防除の徹底を呼びかけました。生産者からは、「高湿条件が続くと病気が発生する仕組みが理解できた」、「ラックコードの数字やアルファベットは見るのに慣れたら楽だ」との意見がありました。

勉強会は今年2月から計4回開催し、参加者は増加傾向です。また、余談も混じり、意見しやすい雰囲気できています。農業改良普及課は、今後もこのような意見交換の場を設け、栽培技術の向上を図っていきます。

品質向上に向けて

・・・JA高知はた宿毛支所小ネギ部会目慣らし会・・・



10月26日、JA高知はた宿毛支所出荷場にて小ネギ部会の目慣らし会が開催され、生産者7名が参加しました。

JA高知はたからは、販売状況や出荷規格についての説明、土壌分析結果や資材案内などの情報提供を行いました。

農業改良普及課からは、葉物野菜の衛生管理の徹底として、栽培や出荷調整で注意すべきことについて説明し衛生管理への意識を促しました。生産者からは「事故が起こった時周りにも迷惑がかかってしまう」「ハウスの破れがあったら直さないと」といった意見が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力しながら部会を支援し、所得の向上に繋げていきます。

鳥獣害対策について学ぶ・・・農業基礎講座&はちきん農業大学地域講座・・・



10月31日、西土佐農業公社の新規就農研修生等を対象に講座を開催し、4名が参加しました。

4回目の今回は、鳥獣害対策（イノシシ、シカ、サル）について農業改良普及課から説明し、随時質問を受けました。参加者からは、地域ぐるみで取り組んでいる事例や作物残渣の処理方法などについて、質問がありました。

農業改良普及課は、今後も研修生の知識・技術習得に向け支援します。

イチゴ勉強会、現地検討会

・・・JA高知はた宿毛支所イチゴ部会・・・



11月16日、JA高知はた宿毛支所2階会議室で、イチゴにおける環境制御についての勉強会と現地検討会を開催し、生産者7名が出席しました。

農業改良普及課からは、植物生理に基づいた炭酸ガス、光環境、湿度の管理について説明を行い、また、他県での環境制御技術試験結果の紹介を行いました。生産者からは、「イチゴでの湿度管理はどのようにしたら良い？」など積極的な質問が出されました。

農業改良普及課は、今後も生産者の要望も取り入れつつ、勉強会を開催していきます。

第2回ミョウガ若手勉強会開催

・・・幡多地区ミョウガ生産者若手勉強会・・・



11月9日、四万十農園「あぐりっこ」において、第2回幡多地区ミョウガ生産者若手勉強会が開催され、生産者8名が参加しました。

農業改良普及課からは、①ミョウガ栽培の基本、②pFメーター・ミズトールの使い方、③農業技術センターの技術紹介の3部構成での情報提供を行いました。参加者は改めて栽培の基本を見直すきっかけとなった様子で、温度管理、湿度管理、かん水管理、肥培管理に関心を寄せていました。

農業改良普及課では今後、座学による基礎固めも大切なことの投げかけをしつつ、皆さんの関心事に寄り添ったテーマでの開催を企画していきます。

第1回ピーマン現地検討会開催

・・・JA高知はたピーマン部会・・・



11月5日、生産者ハウスで現地検討会を開催し、生産者4名が出席しました。

ほ場では県育成の耐低温性系統「高育交13号」の実証栽培や散乱光フィルムの分け分け展覧をしており、新系統の栽培やフィルム下での感触などについて生産者から説明があり、いずれも概ね好感触であることが紹介されました。農業改良普及課は、本年作での最初の検討会であることや新規就農者もいることから、栽培の基本から病害虫対策、環境測定の評価の仕方など幅広く話題提供を行いました。

農業改良普及課は今後、生育調査と環境データを組み合わせた情報提供や、生産者からの話題提供ができる場作りとなるよう進めていきます。